

仙台ニューフィルハーモニー 第41回定期演奏会

指揮：新田 ユリ
Conductor : NITTA Yuri

ジャン・シベリウス
Jean Sibelius(1865-1957)

交響詩《フィンランディア》
Finlandia Op.26-7(1899)

豪快なファンファーレに始まるシベリウスの代表作。後半に登場する主題はフィンランド第二の国家とも称されています。

交響的幻想曲《ポヒョラの娘》
Pohjola's Tochter - Eine Sinfonische Fantasie- Op.49(1906)

「北の国、ポヒョラには大空の虹に腰を掛けて、金銀のまばゆい布を織る美しい乙女がいた。年老いたワイナモイネンは、自分を生んだ大気の乙女、そして水の母なるイルマタルの語る言葉を聞いて、ポヒョラの乙女を妻として得るべく北の国へ向かった……。」フィンランドに伝わる雄大な英雄叙情詩「カレワラ」の第8章、ワイナモイネンの求婚の物語。

交響曲 第2番 二長調
Symphonie Nr.2 D-dur Op.43(1901)

シベリウスのロマン派的な側面が最大限あらわれたこの作品は、『フィンランディア』と並ぶ彼の代表作。

問合せ
仙台ニューフィルハーモニー事務局
Tel:022-234-0701 山路方
URL:<http://sendainewphil.client.jp/>

プレイガイド
宮城県民会館(022-225-8641)
藤崎(022-261-5111)
十字屋(022-266-4321)
(株)ヤマハミュージック東北仙台店(022-227-8513)
カワイミュージックショップ仙台(022-221-4251)
(株)三立仙台本店(022-265-6211)

主催
仙台ニューフィルハーモニー管弦楽団

後援
宮城県・仙台市・宮城県教育委員会・仙台市教育委員会
(財)宮城県文化振興財団・仙台市市民文化事業団・河北新報社
朝日新聞仙台支局・毎日新聞仙台支局・読売新聞東北総局
産経新聞東北総局・仙台リビング新聞社・仙台放送局
TBC東北放送・仙台放送・NHK仙台・NHK東北放送
Date fm・せんだいタウン情報 S-style・ラジオ3FM76.2

2005
4/23
sat.

[18:00 開場 18:30 開演]

一般 ¥1,000
高校生以下 ¥500

宮城県民会館大ホール



NITTA Yuri

指揮: 新田 ユリ

国立音楽大学卒業。桐朋学園大学ディプロマコース指揮科入学。指揮を尾高忠明、小澤征爾、秋山和慶、小松一彦各氏に、又室内楽を三善晃氏に師事。

1990年第40回ブザンソン国際青年指揮者コンクールファイナリスト。1991年東京国際音楽コンクール指揮部門第2位。1991年に東京交響楽団を指揮してデビュー。その後も東京都交響楽団、新日本フィルハーモニー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、仙台フィルハーモニー管弦楽団、広島交響楽団、札幌交響楽団、京都市交響楽団、神奈川フィルハーモニー管弦楽団、大阪センチュリー交響楽団、名古屋フィルハーモニー交響楽団などを指揮。また東京佼成ウインドオーケストラ、大阪市音楽団、東京吹奏楽団などを指揮するなど吹奏楽での活動も行っており、キングレコードより東京佼成ウインドオーケストラとのCDを6枚リリースしている。

オペラでは、横浜シティオペラ、大田区民オペラ協議会で「後宮からの逃走」「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「コシファントゥッテ」「魔笛」「夕鶴」を指揮。2000年秋より1年間文化庁芸術家在外研修員としてフィンランドに派遣され、音楽監督オスモ・ヴァンスカ氏のもとラハティ交響楽団で研修。同交響楽団での公演、リハーサルを指揮するほか、フィンランド国立歌劇場公演カレヴィ・アホ作曲「Ennen kuin me kaikki olemme hukkuu(われら、皆溺れる前に)」、サヴォンリナ音楽祭公演ヘルマン・レヒベルガー、オトリ・コルテクァンガス、カレヴィ・アホ共作「Aika ja Uni(時と夢)」において、オスモ・ヴァンスカ氏のアシスタントを務める。他にもフィンランド放送交響楽団ではユッカ・ペッカ・サラステ氏のリハーサル、レコーディングをアシストする。またラハティ市コンセルヴァトワールの学生によるオーケストラ、吹奏楽公演を指揮する。2001年2月にはヘルシンキにて行われたフィンランド国防軍音楽隊指揮者講習会に、特別講師として招かれた。

2001年8月にラハティ交響楽団メンバーを中心に「アンサンブル・イリス」を結成し、ラハティ市リステイン教会を本拠地にフィンランドと日本の作品をレパートリーとする演奏活動を開始、新聞に取上げられるなど今後の活動が注目されている。同時に室内楽ピアノ奏者としてもラハティ交響楽団メンバーらと共に活動を行っている。

近年は日本においてもフィンランドを初めとする北欧5カ国の作品の演奏に力を注ぎ、その叙情的な感性は高く評価されている。2004年7月には東京でフィンランド放送交響楽団首席ソロトランペット奏者ヨウコ・ハルヤンネ氏と共演。「森と湖の詩サロンコンサート」主宰。日本シベリウス協会理事。現在、国立音楽大学・相愛大学・愛知県立芸術大学非常勤講師。

公式ホームページ「森と湖の詩」<http://www.yuri-muusikko.com>

仙台ニューフィルハーモニー

1981年9月、約20名の弦楽器奏者で創立された仙台ニューフィルハーモニーも24年目を迎えて着実に力をつけ、現団員約90名の成熟しつつあるオーケストラとして益々発展を続けている。

創立当時より、大きな目標の一つに「自力演奏を目指す」ということがあり、そのために、団員一人一人の努力は勿論、演奏指導、運営に携わってきた役員・係も含め、種々な困難に対処してきた。

現在では仙台市内はもとより、宮城県内からも力のある奏者の参加を求めながら編成の充実を目指した結果、ほぼ目標に近い団員数に達しつつある。また、ここ14~15年は優秀な客演指揮者の指導を受ける機会にも恵まれ、音楽への取り組み方も向上し、高い評価を受けるまでになった。

仙台ニューフィルハーモニーでは、現在、団員を募集しております。

募集パートは、Violin, Viola, Cello, Trumpet です。問合せは以下まで。

●仙台ニューフィルハーモニー事務局(山路方:022-234-0701)

●仙台ニューフィルハーモニー HP(<http://sendainewphil.client.jp/>)

